第四次狛江市子ども読書活動推進計画取組み状況シート

計画の内容			取組みの方向性	第四次計画上の具体的な取組み	前年度までの取組み状況（成果）	取組み内容・目標 （令和7年度）	取組み達成予定時期 （達成できていない具体的取組みがある場合）	所管
（記載例） 4．地域における読書活動推進	（1）地域で活動するおはなしグループ、ボランティア団体との連携		地域で子どもへの読み聞かせやストーリーテリング等の読書活動に取り組む団体との連携を図ります。	（ア）地域の団体の活動の把握に努め、近隣の子ども関連施設等に情報が届く仕組みを検討します。 （イ）地域の団体と情報交換を行い、連携のあり方を検討します。	市民活動支援センターとも連携して地域団体の活動の把握に努めるとともに、市内の子ども関連施設に対し、市内で活動するおはなしグループ・ボランティア団体のうち情報提供を希望する団体について、各団体が作成したチラシを配布し活動内容の周知に繋げた。	図書館事業を地域の団体と共同して実施するとともに、年度で3回程度情報交換の場を設け、意見交換する等連携の推進に努めた。 読み聞かせを行っている団体に対し、連続講座を実施し、読み聞かせのスキルアップを図った。	前年度のアンケートにおいては各施設から情報の不足についての意見が寄せられていたため、更なる情報周知に努める。	図書館
1．乳幼児期の読書活動推進	（1）乳幼児期の読書活動	①これから親になる方への絵本の読み聞かせ案内	絵本の読み聞かせやわらべうたは、親子が触れ合うきっかけを作る役割を果たします。父母やその他の保護者による積極的な語りかけの重要性について広く理解を促し、家庭での実践に繋がるよう努めます。	（ア）妊娠中の方等に、図書館利用案内や推薦絵本リストを配布します。 （イ）読み聞かせの意義や推薦絵本リストについて、子ども関連施設等と連携し、これから親になる方に理解が図られるよう努めます。	引き続き館内各所での利用案内や推薦絵本リストの配布、読み聞かせの意義・手法や推薦図書リストを記載した冊子の配布による周知に加え、親子で参加できる青空おはなし会や紙芝居のひろばの実施、絵本の魅力を伝える講座、バリアフリー絵本の展示会として、布絵本の展示等を実施し、読み聞かせの意義や絵本について理解が図られるよう努めた。	引き続き館内各所での利用案内や推薦絵本リストの配布、読み聞かせの意義・手法や推薦図書リストを記載した冊子の配布による周知に加え、こまえみライブラリーでも、バリアフリー絵本・布絵本の展示等を実施し、読み聞かせの意義や絵本について理解が図られるよう努めた。		図書館
		②ブックスタート事業の継続	乳幼児期から身近に本がある環境を作り、本に親しむ機会がもてるよう努めます。	（ア）対象の乳児とその保護者に図書館職員等が絵本の読み聞かせを行い、その絵本を1冊贈呈する「ブックスタート事業」を行います。絵本を介して親子が向き合うきっかけを作り、心触れ合うひとときとなるよう努めます。 （イ）図書館が作成した対象年齢別の絵本リストを配布し、乳幼児の保護者が様々な絵本を手にすることができるよう図書館の絵本を展示します。 （ウ）保護者向けの図書館利用案内を配布します。 （エ）希望する保護者と対象の乳児の図書貸出券を作ります。	市民センター大規模改修により、旧市民食堂で中央図書館臨時窓口を開設し、切れ目なく本が身近にある環境を市民に提供した。 　ブックスタート事業を実施し、絵本の読み聞かせと贈呈、読み聞かせの意義・手法や推薦図書リストを記載した冊子の配布、図書貸出券の作成等の取組みを行い、家庭での読書啓発と継続的な図書館利用に繋がるよう取り組んだ。また、展示スペースは縮小されたが、引き続き絵本展示スペースでの季節や時事関連等の絵本展示に努めた。	引き続き、旧市民食堂で中央図書館臨時窓口を開設し、令和7年9月まで本が身近にある環境を市民に提供した。11月1日にこまえみライブラリーが完成した。倉庫に預けていた児童書を市役所地下書庫(約32,500冊）に配置し、開架蔵書約23,500冊を市民に提供する準備を整えた。 　臨時窓口でも途切れることなくブックスタート事業絵本の読み聞かせ（179組）と贈呈（送付分含む468冊）を実施した。読み聞かせの意義・手法や推薦図書リストを記載した冊子の配布、図書貸出券の作成啓発（ブックスタート時登録120人）等の取組みを行い、家庭での読書啓発と継続的な図書館利用に繋がるよう取り組んだ。また、臨時窓口で展示スペースは縮小されたが、絵本展示スペースでの季節や時事関連等の絵本展示に努めた。こまえみライブラリーでも季節の展示等に努めている。		図書館

		③各施設による取組み	乳幼児関連のイベントを開催し、地域交流の機会がもてるよう努めます。	(ア) おはなし会等の子ども読書関連イベントや講座等の実施に努めます。 (イ) 狛江市子育てポータルサイト「こまえ子育てネット」等を活用し、乳幼児関連イベントのPRを行います。	【児童館・児童センター】月に1回は職員による乳幼児親子向けおはなし会を行っている。児童館全体の行事や活動(乳幼児等も含む)を広報等に掲載している。また、乳幼児親子に対し、おはなし会への参加を促す声かけをしている(和泉児童館)。 引き続き乳幼児おはなし会を開催している。開始時刻を季節によって遅くする等参加しやすい時間帯の設定を行い、館内の掲示等により本に触れやすい環境を作っている。また、クラブ活動では活動の導入として、絵本や紙芝居を用いている。コロナウイルス感染症対策の緩和により、本の貸出しも再開し、図書室内に明確な乳幼児絵本コーナーの設置をする等プログラムだけではなく、日常でも子どもたちが本に関われるよう努めた(岩戸児童センター)。 【子ども家庭支援センター】たんぽぽひろばでの絵本の読み聞かせを毎日実施。また、月1回、元利用者による読み聞かせ会を実施し、地域で子育てを支え合う意識を醸成する。 狛江市子育てポータルサイト「こまえ子育てねっと」等を活用し乳幼児関連イベントのPRを行うことにより親子同士の交流を促進している。また、教育支援センターとの連携により、中学生による乳幼児への読み聞かせを実施。本を通じて異年齢交流を促した。 【各地域センター】幼児と保護者を対象に、リトミック等も交え絵本の読み聞かせをする「えほんとあそぼ」という事業を定例的に実施、定期的に幼児が本に親しむ機会を創出している。 【公民館】子どもと保護者を対象とした西河原公民館図書室の「おはなし会」では、絵本の読み聞かせだけではなく、紙芝居や折り紙、季節の工作等多彩なプログラムを実施している。新たな試みとして0・1・2歳児と3歳児以上を対象としたおはなし会を実施し、参加者に実施するアンケートをスマートフォンから回答できるようにした。	【児童館・児童センター】月に1回は職員による乳幼児親子向けおはなし会を行っている。児童館全体の行事や活動(乳幼児等も含む)を広報等に掲載している。また、乳幼児親子に対し、おはなし会への参加を促す声かけをする(和泉児童館)。 引き続き乳幼児おはなし会を開催する。開始時刻を季節によって遅くする等参加しやすい時間帯の設定を行い、館内の掲示等により本に触れやすい環境を作っている。また、クラブ活動では活動の導入として、絵本や紙芝居を用いている。引き続き図書室内に明確な乳幼児絵本コーナーの設置をする等プログラムだけではなく、日常でも子どもたちが本に関われるよう努める(岩戸児童センター)。 【子ども家庭支援センター】 ・子育てひろばを利用する乳幼児に対し、絵本の読み聞かせを実施した。 ・市立図書館のブックスタートも担っているボランティアによるおはなし会を定期的(月1回)に実施した。 ・狛江市子育てポータルサイト「こまえ子育てねっと」、たんぽぽ通信等を活用し乳幼児関連イベントの周知を行った。 【各地域センター】幼児と保護者を対象に、リトミック等も交え絵本の読み聞かせをした。 「えほんとあそぼ」という事業を定例的に実施、定期的に幼児が本に親しむ機会を創出した。 【公民館】子どもと保護者を対象とした西河原公民館図書室の「おはなし会」では、絵本の読み聞かせだけではなく、紙芝居や折り紙、季節の工作等多彩なプログラムを実施している。また、おはなし会終了後に希望する保護者から本の選定方法等、個別に相談を受ける等、自宅での読書習慣の推進に努めた。		児童館・児童センター 子ども家庭支援センター 各地域センター 公民館

		④保育園における読書活動の充実	乳幼児が日々の生活の中で本に親しむために、保育園における読書活動の充実を図ります。	(ア) 乳幼児の発達に適した蔵書の充実に努めます。 (イ) 図書館の団体貸出を活用します。 (ウ) 保育士は、日常の保育の中で継続して読み聞かせを行います。 (エ) 地域のおはなしグループによる読み聞かせやおはなし会の実施に取り組みます。 (オ) 地域交流（地域の未就学児とその保護者を対象にした行事）において、乳幼児が積極的に本に触れる機会を設けます。	地域の図書館を利用するほか図書館からの配本サービスを利用している。図書館の団体貸出絵本を活用する機会は増えており、今年度は2箱借りて活用している。今後も活用していく。 職員数名からなる図書係をおき、絵本通信を年2回発行して、おすすめの絵本を紹介し、おはなし会の案内を保護者の目に届きやすいところに掲示した。 図鑑を購入し多方面に興味を向けられるようにした。自分が興味を持ったことは調べてみようとする意識が持てるように働きかけている。今年度は、父母の会より様々なジャンルの図鑑を寄附していただいたので、幼児クラスの本棚に並べて友だちや保育者と一緒に読み、興味関心を持ったり深めたりしている。 季節や子どもの興味に合わせて絵本の入替えをし、子どもが興味を持ったり楽しめるようにしている。 昨年度に引き続き、新しい紙芝居と絵本を購入した。	・図書館からの季節にちなんだ配本サービスを年2回利用する。（全園） ・おはなし会の案内掲示をする。（全園） ・園児に人気のある絵本をクラスだより等で年3～6回紹介する。（三島） ・日々の保育の中で読み聞かせを行う。（全園） ・季節や子どもの興味に合わせて絵本の入れ替えをし、子どもが興味を持ったり楽しめるようにしている。（全園） ・5歳児クラスは自分たちで調べたりすることを楽しんでいるので、図鑑をそろえている。（駒井） ・昨年度に引き続き、予算を増やしてもらい新しい紙芝居と絵本を購入した。（全園） ・卒園児の保護者より絵本の寄付をいただき活用させていただいている。（藤塚） ・絵本に出てくる食材や料理を給食で提供し、食にも絵本にも興味を持てるようにしている。（全園）	年度末まで継続する。	保育園
		⑤図書館における読書活動の充実	図書館では、乳幼児の好奇心や感性を養うのに有用で、特に長く読み継がれている絵本を中心に、よりよい絵本を選定しその収集と提供に努めます。また、子ども関連施設への団体貸出の充実に努めます。	(ア) 数ある絵本の中から、特に乳幼児向けの作品を集めた「赤ちゃん絵本コーナー」を設置し、手に取る保護者が選びやすい工夫をします。 (イ) 初めて赤ちゃん絵本を選ぶ人にもわかりやすく、月齢に応じた絵本を紹介するリスト「赤ちゃんに贈るファーストブック」の活用に努めます。 (ウ) 年齢別のおはなし会や季節の行事にちなんだおはなし会の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症等の拡大防止対策を徹底し、新しい生活様式に対応した形での実施を工夫して、乳幼児が絵本やわらべうたに親しむ機会を設けます。 (エ) 図書館が作成する絵本リスト「赤ちゃんに贈るファーストブック」「図書館で会える絵本」に掲載の絵本を中心に、季節やテーマに応じた絵本セットを準備し、子ども関連施設に団体貸出を行います。 (オ) 外国語を母語とする子どもや帰国子女の支援等のため、外国語の絵本を充実させます。 (カ) バリアフリー関連資料の収集に努め、市販の点字付き絵本を購入するとともに、布の絵本の製作や絵本点訳に取り組みます。 (キ) 「こまえ電子図書館」で絵本や児童向けの電子書籍の収集に努めます。	臨時窓口にも赤ちゃん絵本コーナーの設置、「赤ちゃんに贈るファーストブック」や各種推薦図書リストの配架、各種関連事業の実施、団体貸出の実施や多様な形態の資料収集に努めた。また、タイトルのわからない本をひとつの小包に見立て、貸し出す特別貸出「ひみつのこづつみ」を実施し、本に出会える喜びや乳幼児の好奇心や感性を養うイベントを実施した。 特に展示会においては布絵本に実際に触ったり、工作をする等、広範な取組みにより理解が進むよう努めた。	臨時窓口にも赤ちゃん絵本コーナーの設置、「赤ちゃんに贈るファーストブック」や各種推薦図書リストの配架、各種関連事業の実施、団体貸出の実施や多様な形態の資料収集に努めた。こまえみライブラリーでも、赤ちゃん絵本コーナーの設置した。		図書館
	（2）乳幼児期の読書活動推進のための諸条件の整備	①家庭における読書支援のための取組み		(ア) ブックスタートを経て、その後の読み聞かせ活動を継続して実践できるよう、家庭での取組みを支援するフォローアップ事業のあり方について検証します。 (イ) 乳幼児と一緒に図書館へ来館する保護者のための利用案内を配布し、図書館利用の啓発に努めます。 (ウ) 上記の利用案内をブックスタート事業や子ども関連施設等で配布するとともに、ホームページに掲載する等、効果的な周知を図ります。	引き続き年齢別おはなし会の実施や読み聞かせ、絵本等に関する講座の実施、各種案内の配布・周知に努めた。	引き続き年齢別おはなし会の実施や読み聞かせ、絵本等に関する講座の実施、各種案内の配布・周知に努めた。		図書館
		②読み聞かせに向く絵本のリストの作成・配布	多くの絵本の中から何を選んだらよいか迷う保護者等に向け、絵本の紹介リストを定期的に改訂して配布します。	(ア) 「赤ちゃんに贈るファーストブック」「図書館で会える絵本」を作成し、必要に応じて改訂を行い、常に魅力ある新鮮な情報を提供します。 (イ) 上記のリストに掲載した絵本コーナーを設置し、保護者等が様々な絵本を手にすることができるよう努めるとともに、貸出利用を促進します。	引き続き推薦図書リストの改訂・発行と、リストに掲載した絵本を利用者が分かりやすく手にすることができるよう工夫を図るとともに、読書手帳を活用した利用促進に繋がる取組みに努めた。 また、図書館が推薦する絵本の展示会等を実施し、布の絵本や点字絵本に触る機会を設ける等、機会の創出に努めた。	引き続き推薦図書リストの改訂・発行と、リストに掲載した絵本を利用者が分かりやすく手にすることができるよう工夫を図るとともに、読書手帳を活用した利用促進に繋がる取組みに努めた。 また、こまえみライブラリーでも図書館が推薦する絵本の展示会等を実施し、布の絵本や点字絵本に触る機会を設ける等、機会の創出に努めている。		図書館

		③各施設における読書活動の広報	各関連施設における絵本の読み聞かせ等の読書活動について、保護者の目に留まるような広報に努めます。	(ア) 各施設の掲示やイベント情報案内、各施設の発行物等で広報し、周知に努めます。 (イ) 各施設のホームページやSNS等を活用し、効果的な広報周知が図られるよう検討します。	【児童館・児童センター】毎月読み聞かせイベントを実施しており、その開催日時をホームページ上にて周知している。また児童館の毎月の発行物「月のお便り」を発行し、読み聞かせイベントの日程等を周知し、更にホームページでも周知に努めている。 乳幼児親子に対し、おはなし会(読み聞かせも含む)への参加を促す声かけをしている。 毎月、季節に合ったおすすめの絵本を展示しているほか、またイベントの前日と当日には、館内に読み聞かせる絵本等の内容を掲示し、興味が沸くように促している。 【各地域センター】市掲示板・町会掲示板等でのポスター掲示、市内公共施設にチラシの配架及び広報で周知を実施した。広報、チラシ等に申込みQRコードを掲載し、ネット申込みを可能とすることで、窓口を広げた。 【公民館】ポスター掲示や館内、3歳児健診等でのチラシ配布に加え、広報、図書館ホームページ等を活用し、周知や情報案内に努めながら、図書室入口におはなし会用看板を設置をする等、広範な周知に努めた。 【図書館】館内等の掲示、図書館ホームページやSNS、市内掲示板等を活用し、周知に努めた。	【児童館・児童センター】毎月読み聞かせイベントを実施しており、その開催日時をホームページ上にて周知している。また児童館の毎月の発行物「月のお便り」を発行し、読み聞かせイベントの日程等を周知し、更にホームページでも周知に努めている。 乳幼児親子に対し、おはなし会(読み聞かせも含む)への参加を促す声かけをしている。 毎月、季節に合ったおすすめの絵本を展示しているほか、またイベントの前日と当日には、館内に読み聞かせる絵本等の内容を掲示し、興味をもっていただけるよう促している。 【各地域センター】市掲示板・町会掲示板等でのポスター掲示、市内公共施設等にチラシの配架及び広報で周知を実施。 広報、チラシ等に申込みQRコードを掲載し、インターネットからの申込みを可能とすることで、窓口を拡げた。 【公民館】ポスター掲示、館内や幼児の健診事業等でのチラシの配布、広報、図書館ホームページ等への掲載のほか、図書室入口に案内看板を設置し、広範な周知に努めている。令和7年度は、公民館入口にも親しみやすく明るい印象の看板を新たに設置し、公民館来館者にもおはなし会を周知し、更なる広報に努めた。 【図書館】館内等の掲示、図書館ホームページやSNS等を活用し、周知に努めた。	【児童館・児童センター】年度末まで継続して実施する。	児童館・児童センター 各地域センター 公民館 図書館
		④保育園における図書の充実と保育士の研修	乳幼児が本を身近に親しむために、保育園における図書の充実を図ります。	(ア) 計画的に保育園における図書の充実を図ることに努めます。 (イ) 図書館の団体貸出や配本サービスを活用します。 (ウ) 保育士同士の情報交換や研修の機会を設け、絵本に関する知識向上に努めます。	【保育園】園活動のひとつとして子どもたちが直接図書館に行き、読みたい本を自分で選ぶ経験から、公共の場でのルールを知り、公共物を大切に扱うこと等ををを学んでいく。もっと借りたい、次は何を読もうかなという意欲にもつなげていく。 寄贈や図書館のリサイクル図書も活用し、図書の充実を図っている。 【図書館】引き続き団体貸出の実施やリサイクル図書の配布等を行い、各施設における資料が充実するよう努めた。	【保育園】 ・各園の紙芝居・絵本代の予算を増やしてもらい購入した。 ・寄贈していただけるというお話があった場合は積極的に受け取っている。 ・日々の保育の中で、他職員が子どもたちに読み聞かせをしているときに自分が今まで知らなかった本を知る機会がある。 【図書館】引き続き保育園への団体貸出の実施やリサイクル図書の配布等を行い、各施設における資料が充実するよう努めた。		保育園 図書館

		⑤図書館における乳幼児向け資料の充実と図書館職員の研修	乳幼児と保護者が近隣の図書館や図書室で本と親しむために、図書の充実を図るとともに職員の研修を行います。	(ア) 乳幼児向けの資料について、新しく出版される絵本から適切なものを選書するとともに、長く読み継がれている定番の本を必要に応じて買い替え補充し、利用に供します。 (イ) 都立図書館等の研修の機会を利用し、職員の子どもと本をつなぐ能力の向上に努めます。	引き続き新刊図書案内、図書館に配送される見計いやブックフェア等の機会を捉えるとともに、外部の選書　専門施設を活用し、新規発行図書の把握に努めた。 都立図書館等が実施する各種研修への参加に加え、主催した児童行事実技講座に担当職員が参加する等、職員の能力向上に努めた。	引き続き新刊図書案内、図書館に配送される見計いやブックフェア等の機会を捉えるとともに、外部の選書　専門施設を活用し、新規発行図書の把握に努めた。 都立図書館等が実施する各種研修への参加に加え、主催した児童行事実技講座に担当職員が参加する等、職員の能力向上に努める。		図書館
		⑥保育園への団体貸出と配本サービスの拡充	子ども関連施設の図書の充実を支援するため、図書館からの配本サービスを実施します。	(ア) 図書館が作成する絵本リスト「赤ちゃんに贈るファーストブック」「図書館で会える絵本」に掲載の絵本を中心に、季節やテーマに応じた絵本セットを準備し、子ども関連施設に団体貸出を行います。	引き続き子ども関連施設への団体貸出の実施、リサイクル図書の配布に加え、定期的な絵本セットの貸出を行い、子ども関連施設の図書の充実の支援に繋げた。	引き続き子ども関連施設への団体貸出の実施（市立保育園4園　計880冊）、定期的な絵本セットの貸出を行い、子ども関連施設の図書の充実の支援に繋げた。		図書館
		⑦全ての子どもとその保護者のための読書相談及び資料の収集と提供	特別な配慮を必要とする子どもとその保護者へ、それぞれのケースに応じた読書活動の支援を行います。	(ア)「布の絵本」や「絵本点訳」の製作グループによる活動を支援し、図書館資料として所蔵することで提供と普及に努めます。 (イ) 外国語の絵本を収集する等、日本語を母語としない子どもの読書活動の支援に努めます。 (ウ)「こまえ電子図書館」で読み上げ機能がある電子書籍の収集に努めます。 (エ) 利用支援サービスにおいて、希望図書の音訳を行います。 (オ) DAISY（デイジー）図書を活用した読書活動の支援を行います。 (カ) 利用支援サービスの情報発信に努めます。	引き続き協力者への支援として音訳講習会を実施し、外国語の絵本、布の絵本及び点訳絵本等の各種資料の収集等に努めたことに加え、図書館が推薦する絵本の展示会を実施し、布の絵本や点字絵本に触る機会を設ける等、利用支援サービスの情報発信に努めた。	外国語の絵本、布の絵本及び点訳絵本等の各種資料の収集等に努めた。こまえみライブラリーでは「りんごのたな」を作り理解の普及に努めている。		図書館
2. 小・中学生の読書活動推進	(1)小・中学生の読書活動	①児童・生徒の読書活動のさらなる展開	各学校の特色に応じた読書活動の充実と展開を図ります。	(ア)「狛江本の森 学校図書館活用ノート」や「ようこそ本の世界へ」等を活用します。 (イ) 児童・生徒が読書する時間の確保に努め、一冊を読み通す達成感を体験させるための読書イベント等を企画実施します。 (ウ) 児童・生徒の興味・関心や発達段階に応じて、自ら本を選び読書の幅を広げるための展示や掲示を工夫します。 (エ) 自ら友達や同世代に向けて読書の楽しさを発信するビブリオバトル等の活動を通じ、児童・生徒同士が交流できるよう取り組みます。 (オ) 委員会活動等の機会を通じ、校内において学校図書館が身近な学びの場であることが伝わる活動に取り組みます。	「狛江本の森 学校図書館活用ノート」や「ようこそ本の世界へ」等を活用し、児童・生徒の読書活動に対する興味・関心を高めている。 「狛江本の森　学校図書館活用ノート」はデジタル化を進め次年度以降の活用に向けた準備を進めている。 中学校では「こんな本どう2024」を作成し、11月に生徒へ配布し、冬季休業中の読書を推進している。 主体的・対話的な活動やビブリオバトル等を通して、児童の思考力、判断力、表現力等を育んでいる。	「狛江本の森 学校図書館活用ノート」や「ようこそ本の世界へ」等を活用し、児童・生徒の読書活動に対する興味・関心を高めている。 「狛江本の森 学校図書館活用ノート（小学校）」や「こんな本どう2025（中学校）」をデジタル化し、Teams内で共有することで、児童・生徒が読書活動や調べ学習等で活用できるようにしている。 主体的・対話的な活動やビブリオバトル等を通して、児童・生徒の思考力、判断力、表現力等を育んでいる。 図書委員会等の活動の充実を図り、教職員や児童・生徒の「本の紹介カード」を掲示している。	児童・生徒が自ら読書活動に親しむことができるよう、読書イベントや掲示物の工夫等の更なる充実を図る。	小・中学校 指導室
		②資料を使った課題解決の支援	児童・生徒が楽しく読書するだけでなく、各教科・領域や総合的な学習の時間に活用できる学校図書館を目指すと共に、令和2年9月に児童・生徒へ1人1台配布されたタブレット端末を利用したデジタルコンテンツの利活用に努めます。	(ア) 児童・生徒が課題を解決するための手助けとなるような資料の収集に努め、資料の使い方等、必要な指導や助言を行います。 (イ) 学校の夏季休業期間中の課題や自由研究を支援するための資料収集と提供に努めます。 (ウ) 情報検索ツールの一つとして、オンライン百科事典を活用します。	【小・中学校、指導室】学校図書館の環境整備や掲示物等の充実、図書便りの発行等により読書活動の推進を図るとともに、校外学習や進路学習、総合発表会等の調べ学習において、学校司書と連携を図り、学校図書館の活用に努めている。 デジタル百科事典として、小学校では「sagasokka」、中学校では「ブリタニカ」を活用しながら、総合的な学習の時間等の調べ学習を行った。 【図書館】引き続き資料提供と配送便の運行による学校図書館の支援行った。夏季休業期間中の学習支援については、市民センター大規模改修のため、臨時休館中であったため、西河原公民館図書室、各地域センター図書室の案内を行った。	【小・中学校、指導室】学校図書館の環境整備や掲示物等の充実、図書便りの発行等により読書活動の推進を図るとともに、校外学習や進路学習、総合発表会等の調べ学習において、学校司書と連携を図り、学校図書館の活用に努めている。 「狛江本の森 学校図書館活用ノート（小学校）」や「こんな本どう2025（中学校）」をデジタル化し、Teams内で共有することで、児童・生徒が読書活動や調べ学習等で活用できるようにしている。 【図書館】引き続き資料提供と配送便の運行による学校図書館の支援行った。こまえみライブラリーが開館したので、今後は引き続きこまえみライブラリーにてサポートしていく。	【小・中学校、指導室】学校図書館を活用した探究的な学習の更なる充実を図る。	小・中学校 指導室 図書館

		③図書館見学・職場体験の受入れ	学年に応じた施設見学や図書館の仕事を体験することで、より一層本や図書館に親しみをもつことができるよう、内容の充実に努めるとともに積極的に受入れを行います。	(ア) 小学生の校外学習の一環として、集団での施設案内や利用指導を行う機会をつくります。 (イ) 中学生の職場体験を受入れ、図書館の仕事を体験する機会をつくります。 (ウ) 夏季休業期間に小学生を募集し、「子ども図書館員」として図書館の仕事を体験する機会をつくります。 (エ) 小・中学生からの取材依頼等を受入れ、図書館や本に親しみをもつことができる機会の充実に努めます。	臨時窓口に移行したことにより、施設案内・見学等の受入れは実施できないが、市立中学校の職場体験の受入れを引き続き行うことにより、図書館の利用啓発・図書館や本に親しみをもつことができる機会の継続に努めた。	こまえみライブラリーが開館したことにより、施設案内・見学等の受入れを再開した（11月1校「まちたんけん」、12月1校施設見学実施）。市立中学校の職場体験の受入れも再開し、図書館の利用啓発・図書館や本に親しみをもつことができる機会の継続に努めていく。		図書館
		④児童館・児童センター・学童クラブにおける読書活動の推進	小・中学生が身近なところで本と親しむことができるよう、児童館・児童センター・学童クラブでの読書活動の充実を図ります。	(ア) 児童館・児童センター・学童クラブでは、職員等による読み聞かせの時間をもつとともに、地域のおはなしグループによるおはなし会の実施に努めます。 (イ) 図書館の団体貸出を活用し、資料の充実を図ります。	・毎月おはなし会を実施し、読書をすることに興味をもてるよう働きかけを行っている。 毎月、最低1冊以上の絵本もしくは児童向け図書を入れ、「今月の本」として紹介をし、読書活動推進をしている。 月に1回職員による乳幼児親子、小学生向けおはなし会を行っている。（和泉児童館） 季節にあった本の展示やメッセージ性のある本等を展示し、手に取りやすさ等で本に触れる機会を増やしつつ、ハードルを下げる取組みを行った。（和泉児童館） ・学童クラブでは新しくボランティアによる月1回の読み聞かせ活動を始め、本に触れる機会を以前よりも増加させた。 図書室における本の貸出し事業も、特に乳幼児親子に周知されており、様々な本の貸出しが行われている。（岩戸児童センター）	・毎月おはなし会を実施し、読書をすることに興味をもてるよう働きかけを行っている。 毎月、最低1冊以上の絵本もしくは児童向け図書を入れ、「今月の本」として紹介をし、読書活動推進をしている。 月に1回職員による乳幼児親子、小学生向けおはなし会を行っている。（和泉児童館） 季節にあった本の展示やメッセージ性のある本等を展示し、手に取りやすさ等で本に触れる機会を増やしつつ、ハードルを下げる取組みを行った。（和泉児童館） ・学童クラブでは新しくボランティアによる月1回の読み聞かせ活動を始め、本に触れる機会を以前よりも増加させた。 図書室における本の貸出し事業も、特に乳幼児親子に周知されており、様々な本の貸出しが行われている。（岩戸児童センター）		児童館 学童クラブ
	（2）小･中学生の読書活動推進のための諸条件の整備	①学校図書館の蔵書構成及び更新	児童・生徒が身近な場所で本と親しむとともに、各教科・領域や総合的な学習の時間に利用しやすい蔵書構成を目指した蔵書の充実と更新を図ります。	(ア) 児童・生徒の読書への意欲をかきたてる資料を研究し、計画的に資料を整備します。 (イ) 各教科や領域の学びを広げ深めるための資料の研究や収集に努めます。 (ウ) 学級文庫用図書の充実に努めます。 (エ) 不必要になった資料の定期的な払い出しや除籍を行い、蔵書の更新・補充に努めます。また、そのための除籍の基準を検討します。	学校図書館の環境整備や掲示物等の充実、図書便りの発行等により読書活動の推進を図るとともに、校外学習や進路学習、総合発表会等の調べ学習において、学校司書と連携を図り、学校図書館の活用に努めている。 蔵書点検を各校が年1回計画的に行うとともに、アンケートによって児童・生徒が読みたい本を取り寄せる等、蔵書の更新・補充に努めている。	学校図書館の環境整備や掲示物等の充実、図書便りの発行等により読書活動の推進を図るとともに、校外学習や進路学習、総合発表会等の調べ学習において、学校司書と連携を図り、学校図書館の活用に努めている。 蔵書点検を各校が年1回計画的に行うとともに、アンケートによって児童・生徒が読みたい本を取り寄せる等、蔵書の更新・補充を進めている。	蔵書点検は、1月に狛江第三中学校、2月に狛江第二中学校、3月に狛江第三小学校で実施予定である。	小･中学校 指導室
		②学校図書館システムの運用	学校図書館システムの運用により、貸出・返却・予約・統計・蔵書点検等の業務を円滑に行います。	(ア) 学校司書や司書教諭が児童・生徒と接する時間を確保できるよう、円滑な業務遂行ができる環境を整備します。 (イ) 学校司書や司書教諭への操作研修を実施し、円滑な学校図書館運営に努めます。 (ウ) 学校図書館の運営に各種統計を参照するため、分類等の共通化を図ります。	学校図書館の環境整備や掲示物等の充実、図書便りの発行等により読書活動の推進を図るとともに、校外学習や進路学習、総合発表会等の調べ学習において、学校司書と連携を図り、学校図書館の活用に努めている。	学校司書が児童・生徒と接する時間を確保できるように、Teamsの掲示板等を活用し、遠隔でも情報共有できるように工夫している。 蔵書点検を各校で年1回計画的に実施し、蔵書の更新・補充を進めている。	蔵書点検は、1月に狛江第三中学校、2月に狛江第二中学校、3月に狛江第三小学校で実施予定である。	小･中学校 指導室

		③学校図書館設備の充実	学校図書館が、児童・生徒にとって安全で親しみやすく心の居場所となることができるよう、学習や読書活動に役立つ環境整備を図ります。	(ア) 児童・生徒の利用動線に配慮し、書架配置や必要に応じて案内表示を工夫します。 (イ) 空間の確保、椅子・本棚等の不足や老朽化への対応に努めます。 (ウ) 児童への読み聞かせスペース、生徒が集中して学習できる机の配置等の工夫に努めます。 (エ) 児童・生徒が自ら蔵書を検索できる環境を整備します。 (オ) 新しい生活様式に対応した利用ができるよう、環境の整備等に努めます。	学校図書館の環境整備や掲示物等の充実、図書便りの発行等により読書活動の推進を図るとともに、校外学習や進路学習、総合発表会等の調べ学習において、学校司書と連携を図り、学校図書館の活用に努めている。	学校図書館の環境整備や掲示物等の充実、図書便りの発行等により読書活動の推進を図るとともに、校外学習や進路学習、総合発表会等の調べ学習において、学校司書と連携を図り、学校図書館の活用推進を行っている。		小・中学校 指導室
		④学校図書館連絡協議会の開催、研修の実施	学校図書館の運営には、利用指導計画を立案し実践する司書教諭と、それをサポートする学校司書の連絡調整が欠かせません。司書教諭の資質と能力の向上を図り、専門的な知識・経験を深めるための実務研修を行います。また、校長は司書教諭や学校司書と協力し、学校図書館の業務が円滑に行われるよう努めます。	(ア) 校内に学校図書館活用委員会を設置し、学校全体で学校図書館を活用します。 (イ) 学校図書館の運営に必要な能力を司書教諭が身に付けるための研修を実施します。 (ウ) 小・中学校の司書教諭と学校司書が、連携を図るための合同連絡協議会を開催します。 (エ) 学校図書館の校内運営及び学校間の連携のあり方について協議し、共有ガイドラインを作成します。	学期に1回開催する学校図書館連絡協議会では、学校司書と教員の連携を図りながら、読書活動推進に向けた取組みを行っている。また、適宜臨時会を開催し、読書週間の検討会や配布物の作成・共有等の取組みを行っている。 学校図書館の運営に必要な能力を司書教諭等が身に付けるため、10月に地区の学校図書館の運用の視察を行う。	学期に1回開催する学校図書館連絡協議会では、学校司書と教員の連携を図りながら、読書活動推進に向けた取組みを行っている。また、適宜臨時会を開催し、読書週間の検討会や配布物の作成・共有等の取組みを行っている。 学校図書館の運営に必要な能力を司書教諭等が身に付けるため、10月28日（火）に多摩市立中央図書館を視察し、館内の施設見学及び情報交換を行った。	第3回学校図書館連絡協議会は、2月20日（金）に開催予定である。	小・中学校 指導室
		⑤学校図書館と市立図書館の情報共有	小・中学生の読書活動の推進を図るため、学校図書館と市立図書館は情報を共有し、サービスの充実に取り組みます。また、学校図書館の運営が円滑に行われるよう、学校図書館と市立図書館の連絡体制を整備するとともに実務に必要な研修を実施します。	(ア) 学校図書館連絡協議会へ図書館職員が参加し、情報共有を行います。 (イ) 小・中学校の学校司書と図書館職員が、連携を図るための学校司書・図書館司書連絡会を開催します。 (ウ) 図書館ホームページ上の掲示板を、各学校図書館と市立図書館の情報共有に活用します。 (エ) 業務を円滑に行うための、学校図書館実務マニュアルの作成を進めるとともに、必要に応じて見直します。 (オ) 効率的に業務を行うために研鑽が図れるよう、実務研修を実施します。	【小・中学校、指導室】文字の読み書きに困難を抱える児童にデイジー図書を提供している。特別支援学級設置校で実施している読書補助用具や館内掲示の工夫等について、特別支援学級がない学校でも特別な配慮を要する児童・生徒に向けた取組みを行うことができるよう、学校図書館連絡協議会等で情報共有を図っている。 【図書館】学校図書館連絡協議会に図書館職員が参加し、学校司書との情報交換を行う。	【小・中学校、指導室】文字の読み書きに困難を抱える児童にデイジー図書を提供している。特別支援学級設置校で実施している読書補助用具や館内掲示の工夫等について、特別支援学級がない学校でも特別な配慮を要する児童・生徒に向けた取組みを行うことができるよう、学校図書館連絡協議会等で情報共有を図っている。 【図書館】学校図書館連絡協議会に図書館職員が参加し、学校司書との情報交換を行う。	【小・中学校、指導室】学校図書館連絡協議会において、学校司書及び司書教諭が図書館職員と情報共有を行う等、連携を図る。	小・中学校 図書館 指導室
		⑥市立図書館における小・中学生向け資料の充実	小・中学生が図書館で本と親しみ、本を通じて学ぶことができるよう、資料の充実を図ります。	(ア) 小・中学生向けの資料について、新しく出版された本から適切な選書をするとともに、長く読み継がれている本を点検・必要に応じて買い替え補充し、利用に供します。 (イ) 小・中学生のさまざまな興味に応えられるよう、各分野の資料を揃えます。 (ウ) 郷土学習に関連する地域資料を積極的に収集します。 (エ)「こまえ電子図書館」で小・中学生向けの電子書籍の収集に努めます。	引き続き新刊図書案内、図書館に配送される見計いやブックフェア等の機会に加え、外部の選書専門施設を活用し新規発行図書を把握し、各種資料の収集に努めた。 小学生を対象としたブックトークイベントを開催し、読書への興味関心を深める事業を実施する。	引き続き新刊図書案内、図書館に配送される見計いやブックフェア等の機会に加え、外部の選書専門施設を活用し新規発行図書を把握し、各種資料の収集に努めた。 小・中学生の電子図書への興味関心を深めるため、その年代を対象とした電子図書館に特化した利用案内を作成し配布、また利用に直接つながるようなイベントを開催する。		図書館
		⑦市立図書館による学校図書館の支援	小・中学生が身近な学校図書館で本と親しみ、学習することができるよう、学校図書館の取組みを支援します。	(ア) 市立図書館から学校への配送便を定期的に運行し、学校図書館から要望のあった資料の貸出を行います。 (イ) 学習テーマに応じた資料セットや郷土学習資料セットのほか、一斉指導や集団読書用に図鑑や絵本・読み物の複本を揃え、効果的な支援の実施に努めます。 (ウ) 学級文庫用図書を準備し、必要に応じて配本します。	引き続き配送便運行と資料貸出、セカンドブック・サードブックの配布を行い、学校における読書活動の支援と子どもが早期から読書に親しむ環境の充実を図った。	引き続き配送便運行（週2回）と資料貸出、セカンドブック・サードブックの配布（セカンドブック663冊、サードブック625冊配布）を行い、学校における読書活動の支援と子どもが早期から読書に親しむ環境の充実を図った。		図書館
		⑧市立図書館ホームページ「こどもページ」の活用	市立図書館ホームページでは、子どもが自ら図書館の蔵書検索をすることができる仕組みを整備しましたが、引き続き子どもの読書活動推進のための情報発信に努めます。	(ア) 子どもの読書活動に関する取組みの情報を掲載し、情報発信に努めます。 (イ) 学校図書館の支援に関する取組みの情報を掲載し、情報発信に努めます。	引き続き図書館ホームページや館内OPACで子どもが自ら資料を検索できる環境を提供するとともに、図書館ホームページで子ども読書活動推進の取組みや学校図書館支援に関する取組み、子ども向けイベントについて掲載し、情報の発信に努めた。	引き続き図書館ホームページや館内OPACで子どもが自ら資料を検索できる環境を提供するとともに、図書館ホームページで子ども読書活動推進や学校図書館支援に関する取組み、子ども向けイベントについて掲載し、情報の発信に努めた。		図書館

		⑨児童館・児童センター・学童クラブにおける図書の充実	小・中学生が身近なところで本と親しむために、児童館・児童センター・学童クラブでの図書の充実を図ります。	(ア) 児童館・児童センター・学童クラブでは、計画的に図書の充実を図ることに努めます。 (イ) 図書館では、児童館・児童センター・学童クラブへ団体貸出を行います。	【児童館・児童センター、学童クラブ】 ・計画的に図書の購入を行い、蔵書の充実を図っており、特に児童館の図書室では、毎月、最低1冊以上の絵本もしくは児童向け図書を入れ、「今月の本」として紹介し、読書活動を推進している。また在籍する児童の学年に適した図書を充実させるため、職員間で検討し、適宜新規図書の購入を行っている。8月には戦争と平和について子ども達が触れられる機会として、毎月の図書購入とは別に複数冊購入し、本の展示や紹介を行い、その中の1冊を読み聞かせる機会を設けた。 近隣の方からの寄付(特に絵本等)等により図書室の蔵書の充実を図っている。(和泉児童館) ・小学生クラブでは図鑑やシリーズ物の本の充実を図り、継続的な読書を自然と行えるような環境を作っている。図書室では子どもの意見を取り入れる名目で、購入する本を投票形式決定したり、メッセージ性のある本を定期的に行う等様々な方向でのアプローチを行っている。また、「飽き」が来ないよう定期的な本の入替えや購入も行っており、続けて利用してもらえるような工夫を児童館・学童クラブ共に取り組んでいる。読み聞かせ活動も今までは児童館・児童センター側だけで行っていたものを、学童クラブでも実施するようになり、館全体として本に触れる機会を増やすように運営を行っている。(岩戸児童センター) 【図書館】団体貸出により、各施設における資料が充実するよう努めた。	【児童館・児童センター、学童クラブ】 ・計画的に図書の購入を行い、蔵書の充実を図っており、特に児童館の図書室では、毎月、最低1冊以上の絵本もしくは児童向け図書を入れ、「今月の本」として紹介し、読書活動を推進している。また在籍する児童の学年に適した図書を充実させるため、職員間で検討し、適宜新規図書の購入を行っている。8月には戦争と平和について子ども達が触れられる機会として、毎月の図書購入とは別に複数冊購入し、本の展示や紹介を行い、その中の1冊を読み聞かせる機会を設けた。 近隣の方からの寄付(特に絵本等)等により図書室の蔵書の充実を図っている。(和泉児童館) ・小学生クラブでは図鑑やシリーズ物の本の充実を図り、継続的な読書を自然と行えるような環境を作っている。図書室では子どもの意見を取り入れる名目で、購入する本を投票形式決定したり、メッセージ性のある本を定期的に行う等様々な方向でのアプローチを行っている。また、「飽き」が来ないよう定期的な本の入替えや購入も行っており、続けて利用してもらえるような工夫を児童館・学童クラブ共に取り組んでいる。読み聞かせ活動も今までは児童館・児童センター側だけで行っていたものを、学童クラブでも実施するようになり、館全体として本に触れる機会を増やすように運営を行っている。(岩戸児童センター) 【図書館】団体貸出により、各施設における資料が充実するよう努めた。		児童館・児童センター 学童クラブ 図書館
		⑩全ての児童・生徒とその保護者のための読書相談及び資料の収集と提供	特別な配慮を必要とする児童・生徒とその保護者へ、それぞれのケースに応じた読書活動の支援を行います。	(ア) 学校図書館では、読書補助用具を備え、読みへの抵抗を和らげる手立てを検討し、設備の充実を図ります。 (イ) 学校図書館では、館内掲示を大きくし、手順をわかりやすく表示するためピクトグラムを添える等、文字だけに頼らない工夫をします。 (ウ) 学校図書館では、特別支援学級の読書活動を支援する取組みに努めます。 (エ) 市立図書館では、バリアフリー関連資料の収集と提供に努めます。 (オ) 市立図書館では、利用支援サービスの案内・周知に努めます。 (カ) 市立図書館では、特別支援学級に在籍する児童・生徒の施設案内のための来館に対応するとともに、特別な支援を必要とする生徒の職場体験を積極的に受入れます。 (キ) 日本語を母語としない児童・生徒の読書活動の支援に努めます。	【小・中学校、指導室】文字の読み書きに困難を抱える児童にデイジー図書を提供している。特別支援学級設置校で実施している読書補助用具や館内掲示の工夫等について、特別支援学級がない学校でも特別な配慮を要する児童・生徒に向けた取組みを行うことができるよう、学校図書館連絡協議会等で情報共有を図っている。 【図書館】引き続きバリアフリー関連資料や外国語の絵本等の各種資料の収集等に努めたことに加え、図書館が推薦する絵本の展示会を実施し、布の絵本や点字絵本に触る機会を設ける等、利用支援サービスの情報発信に努めた。	【小・中学校、指導室】文字の読み書きに困難を抱える児童にデイジー図書を提供している。特別支援学級設置校で実施している読書補助用具や館内掲示の工夫等について、特別支援学級がない学校でも特別な配慮を要する児童・生徒に向けた取組みを行うことができるよう、学校図書館連絡協議会等で情報共有を図っている。 【図書館】引き続きバリアフリー関連資料や外国語の絵本等の各種資料の収集等に努めた。こまえみライブラリーでは、「りんごのたな」を設置し(約120冊展示)、布の絵本や点字絵本に触る機会を設け、利用支援サービスの情報発信を行った。	【小・中学校、指導室】デイジー図書について、活用事例を共有する等、更なる活用推進を図る。	小・中学校 指導室 図書館
3. 高校生等の読書活動推進	(1)図書館におけるYAサービスの充実		高校生等が図書館で本と親しみ、本を通じて学ぶことができるよう、図書館におけるYA資料の充実を図ります。	(ア) YA世代のさまざまな興味に応えられるよう、各分野の資料を揃えます。また、対象者向けの新着図書等を特集コーナーで積極的に紹介します。	臨時窓口への移行により、YA資料専用コーナーでの資料提供はできないが、引き続き推薦図書リストを配布、掲出し、高校生等の興味を惹くようにリストの周知を図った。また中高生向けの図書館利用案内を発行し、図書館の活用、サービスについての周知を図る。	臨時窓口内では、夏休み時期から実際に手に取って見て選べるようYA向き文庫コーナーを作り、利用促進を行った。また引き続き推薦図書リストを配布、掲出し、高校生等の興味を惹くようにリストを作成し周知を図った。こまえみライブラリーでもYAコーナー(約1700冊)を作り、利用を促進していく。		図書館

	(2)「こまえ電子図書館」のYA向け電子書籍の充実		刊行頻度が高いライトノベルや記述式のページがある問題集等、紙の本では積極的に収集していない種類について電子書籍の収集・提供を検討します。また、世代特有の悩み等センシティブなテーマを扱った本は、電子図書館でも備えることで他人に知られることなく利用することができる等、世代特有の環境に配慮した資料提供に努めます。	(ア)「こまえ電子図書館」では、YA世代に向けた電子書籍の収集と提供に努めます。	引き続きこまえ電子図書館において各種資料の収集に努めるとともに、アクセスしやすい環境の整備に努めた。	引き続きこまえ電子図書館において各種資料の収集に努めるとともに、英語学習資料の増加に努めた。		図書館
	(3)都立狛江高等学校と市立図書館の連携		都立狛江高等学校では、市外から通う生徒が多いため、生徒が狛江市の図書館について知る機会をつくり、連携のあり方を検討します。	(ア) 引き続き都立狛江高等学校へ、図書館の利用案内や推薦図書リストを配布します。 (イ) 引き続きイベントのお知らせや「図書館だより」等を配布します。	引き続き利用案内、推薦図書リスト、図書館だより、事業報告書等各種発行物の配布を行い、図書館事業の周知に努める。	引き続き利用案内、推薦図書リスト、図書館だより、事業報告書等各種発行物の配布を行い、図書館事業の周知に努める。		図書館
	(4)特別な配慮を必要とする青少年とその保護者への読書支援		特別な配慮を必要とする青少年とその保護者へ、それぞれのケースに応じた読書活動の支援を行います。	(ア) バリアフリー関連資料の収集と提供に努めます。 (イ) 外国語の絵本を収集します。 (ウ)「こまえ電子図書館」で読み上げ機能がある電子書籍の収集に努めます。 (エ) 利用支援サービスにおいて、希望図書の音訳を行います。 (オ) DAISY図書を活用した読書活動の支援を行います。 (カ) 利用支援サービスの情報発信に努めます。 (キ) 日本語を母語としない青少年の読書活動の支援に努めます。	引き続きバリアフリー関連資料や外国語の絵本等の各種資料の収集等に努めたことに加え、図書館が推薦する絵本の展示会を実施し、布の絵本や点字絵本に触る機会を設ける等、利用支援サービスの情報発信に努めた。	引き続き利用案内、推薦図書リスト、図書館だより、事業報告書等各種発行物の配布を行い、図書館事業の周知に努める。		図書館
4. 地域における読書活動推進	(1)地域で活動するおはなしグループ、ボランティア団体との連携		地域で子どもへの読み聞かせやストーリーテリング等の読書活動に取組む団体との連携を図ります。	(ア) 地域の団体の活動の把握に努め、近隣の子ども関連施設等に情報が届く仕組みを検討します。 (イ) 地域の団体と情報交換を行い、連携のあり方を検討します。	引き続き地域団体の活動の把握に努め、図書館で実施する各種行事において各団体と連携して内容の充実を図った。	特に読み聞かせボランティアの活動の把握に努め、中でもこまえみらいテラスで実施する各種行事において公民館・市民活動支援センター・各団体と連携して内容の充実を図った。オープン記念イベントでは、大人向けに藪内正幸美術館館長の講演会を行った。その関連イベントおはなし会をボランティアとともに行い、20人程度の参加があった。		図書館
	(2)子どもと本をつなぐ活動に携わる人の育成		子どもが身近で本と出会える機会をつくるため、地域において、子どもと本をつなぐ活動に携わる人を育成します。	(ア) 子どもの読書に関心のある方を対象に「児童行事実技講座」を実施します。 (イ)「児童行事実技講座」受講者を対象に、地域で活躍していただける仕組みを検討します。	引き続き児童行事実技講座を実施し、おはなし会の実施や絵本についての講習を通し、おはなし会に携わる人材の養成に努めた。 また、子ども読書活動推進事業として、子どもたちに昔話の魅力を伝えるため、大人向けに昔話の絵本の選び方や話し方についての講座を実施する。	引き続き児童行事実技講座を実施し、おはなし会の実施や絵本についての講習を通し、おはなし会に携わる人材の養成に努めた。 また、子ども読書活動推進事業として、子どもたちに昔話の魅力を伝えるため、大人向けに昔話の絵本の選び方や話し方についての講座を実施した（令和7年3月実施延べ54人参加）	2月に子どもの読書に関心のある方に向けて、「科学の本」に関する講座（2回講座）を実施予定。	図書館
	(3)子どもの読書に関する講座等の実施		子どもの読書活動に関する市民の要望に応えた講座や講演会を実施します。	(ア) 図書館では、子ども関連施設や公民館・地域センターと連携し、市民のニーズや今日的課題に応えた講座・講演会を実施します。	【各地域センター】小学生を対象に「子ども一日図書室員」という体験学習を行い、図書室の業務を実際に体験し、様々な本に触れ、本を身近に感じてもてもらう事により読書活動の推進を図った。 七タおはなし会、仮装で楽しむおはなし会、クリスマスおはなし会を実施し、季節感のある本を読み聞かせして楽しみながら本への関心を深めることに繋げた。 小学生の「まちたんけん」課外授業で図書室を見学してもらい、様々な本についての説明や人気本の紹介等を行い読書活動の推進を図った。 【公民館】西河原公民館幼児室に幼児向けの絵本を配架した。 【図書館】引き続きおはなし会用資料の提供により、各図書室の支援をするとともに、図書館実施事業について各施設へ案内する等連携を図った。	【各地域センター】小学生を対象に「子ども一日図書室員」という体験学習を行い、図書室の業務を実際に体験し、様々な本に触れ、本を身近に感じてもてもらう事により読書活動の推進を図った。 七タおはなし会、仮装で楽しむおはなし会、クリスマスおはなし会を実施し、季節感のある本を読み聞かせして楽しみながら本への関心を深めることに繋げた。また課外授業の際に図書室を見学してもらい、様々な本についての説明や人気本の紹介等を行い読書活動の推進した。 【公民館】例年好評の特別おはなし会では、実施時期を見直したことで参加者が増加した。 【図書館】引き続きおはなし会用資料の提供により、各図書室の支援をするとともに、図書館実施事業について各施設へ案内する等連携を図った。		地域センター 公民館 図書館

	(4)図書関連施設職員の情報共有			(ア) 地域センターでは、図書館と連携して図書室を運営し、子どもの本の充実を図るとともに、地域での取組みについて情報を共有します。 (イ) 西河原公民館では、図書館と連携して図書室を運営し、子どもの本の充実を図るとともに、定期的なおはなし会の開催を継続します。	【各地域センター】会議等に参加し、図書館との情報共有、連携を図った。 【公民館】子どもと保護者を対象とした西河原公民館図書室の「おはなし会」では、絵本の読み聞かせだけではなく、紙芝居や折り紙、季節の工作等多彩なプログラムを実施している。 会議等に参加し、図書館・地域センターと情報を共有している。 【図書館】引き続き「図書館・図書室連絡会」を実施し、図書館と各図書室間の情報共有と課題解決のための連携の充実を図った。	【各地域センター】会議等に参加し、図書館との情報共有、連携を図った。 【公民館】地域センター及び図書館との会議への参加のほか、西河原公民館図書室職員での会議を定期に行い、情報を共有して円滑な図書室運営に努めた。また、西河原公民館幼児室に配架している幼児向け絵本は、貸出用にはならなくなった絵本を再利用し、保育室内で活用した。 【図書館】引き続き「図書館・図書室連絡会」を実施し、図書館と各図書室間の情報共有と課題解決のための連携の充実を図る。図書室のおはなし会案内をブックスタート時等に利用者に配布した。		地域センター 公民館 図書館
5. 普及・啓発	(1)子ども読書啓発事業の取組み		平成15年度に開始したブックスタート事業に続き、子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけをつくり自発的な読書活動につなげるための取組みとして、平成25年からセカンドブック事業、平成29年にはサードブック事業を開始しています。配布方法については、小・中学校と連携して行います。	(ア) 引き続き乳児を対象に、絵本を贈呈するブックスタートに取り組みます。 (イ) 引き続き市立小学校と協力する等、新小学1年生を対象に、本を贈呈するセカンドブックに取り組みます。 (ウ) 引き続き市立中学校と協力する等、新中学1年生を対象に、本を贈呈するサードブックに取り組みます。	引き続きブックスタート事業の実施、小・中学校と連携した方式でのセカンドブック・サードブック事業の実施に努め、子どもが早期から読書に親しむ環境の充実に加え、継続的に読書活動につなげるための取組みを行った。	引き続きブックスタート事業の実施、小・中学校と連携した方式でのセカンドブック・サードブック事業の実施に努め、子どもが早期から読書に親しむ環境の充実に加え、継続的に読書活動につなげるための取組みを行った。		図書館
	(2)「子ども読書の日」に合わせたイベントの開催		子どもの読書活動の大切さについて、広く市民の関心と理解を深めるため、国の定めた「子ども読書の日」の趣旨に沿ったイベントを開催します。	(ア) 4月23日～5月12日の「こどもの読書週間」に合わせ、子どもの読書に関するイベントを開催します。	春の「こどもの読書週間」期間には、青空おはなし会や、特別貸出として、図書館が推薦する本を「ひみつのこづつみ」として、タイトルが分からないように包み、特別貸出を行う等、子どもたちがわくわくしながら本に親しめる機会の創出に努めた。	臨時窓口では本が少なく、工事音やスペース等の関係で、青空おはなし会等を行うことが出来なかったが、こまえみライブラリーで本に親しめる環境、イベントを整えていく。		図書館
	(3)家庭における読書活動の推奨		子どもの読書活動を習慣づけるためには、乳幼児期をはじめとして、最も身近な場所である家庭で本に親しむことが有効です。家庭における読書を推奨します。	(ア) 乳幼児の保護者に向けて、図書館の利用案内を配布します。 (イ) 読み聞かせに向く絵本のリストを作成し、配布します。	引き続き利用案内や推薦図書リストの配布、ブックスタート事業や児童行事実技講座の実施による家庭での読書活動支援に努めたことに加え、図書館が推薦する絵本の展示会等を実施し、読み聞かせの意義や絵本についてより一層理解が図られるよう努めた。	引き続き利用案内や推薦図書リストの配布、ブックスタート事業や児童行事実技講座の実施による家庭での読書活動支援に努めたことに加え、図書館が推薦する絵本の展示を実施し、読み聞かせの意義や絵本についてより一層理解が図られるよう努めた。		図書館
	(4)新しい生活様式に対応した各種行事、講座等の実施		新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等を念頭に置き、新しい生活様式に対応しつつ、より子どもたちの興味関心に寄り添った形での行事イベントや講座等の実施を工夫します。	(ア)「児童行事実技講座」等の講座・講演会を実施するに際しては、基本的な感染予防対策を徹底します。 (イ) 子どもたちが密にならず、自分のタイミングで参加できるようなブックレビュー等の設置型のイベントや屋外でのおはなし会を企画します。 (ウ) 先進的事例等の情報収集に努め、各施設の取組みとも連携し、より子どもたちの読書意欲を喚起する取組みを検討します。	図書消毒機の使用や手指消毒、換気等通常の感染症対策を実施する中で、各種行事・講座等の実施に努めた。	図書消毒機の使用を継続し、引き続き利用が多かった。講座やイベント等は通常開催とした。		図書館
	(5)読書手帳の配布		子どもが読んだ本の情報を書き記すことで自身の読書傾向を把握し、さらなる読書意欲を喚起させる取組みとして、「読書手帳」を配布します。	(ア) 中学生以下の子どもを対象に、貸出中の本の情報をシール印刷して貼付することができる「読書手帳」を配布します。	引き続き読書手帳の配布と市内小学校と連携した活用の推進、子どもが参加するイベントでの読書手帳利用啓発等を行い、読書推進の取組みに努めた。	引き続き読書手帳の配布と市内小学校と連携した活用の推進、子どもが参加するイベントでの読書手帳利用啓発等を行い、読書推進の取組みに努めた。		図書館